



# Cisco APIC パスワードの復元と特別ログインのアクセス

この章では、Cisco APIC パスワードを復元する方法、レスキューユーザー ログインにアクセスしてトラブルシューティングコマンドを実行する方法（構成を消去するコマンドを含む）、およびロックアウトの場合のローカル ユーザー データベースを使用してログインできる非表示のログイン ドメインにアクセスする方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [APICパスワードの回復（1 ページ）](#)
- [Rescue-user アカウントを使用し NX-OS スタイルの CLI を使用した Cisco APIC 構成を消去する, on page 2](#)
- [フォールバック ログイン ドメインを使用してローカル データベースにログインする（2 ページ）](#)

## APICパスワードの回復

これらの手順に従い、APIC パスワードを復元します。

- ステップ 1** 「aci-admin-passwd-reset.txt」という名前の空のファイルを作成して保存します。
- ステップ 2** ファイルを USB ドライブに追加します。USB ドライブを FAT または FAT32 にフォーマットできます。
- ステップ 3** USB ドライブを Cisco APIC の背面 USB ポートの 1 つに接続します。
- ステップ 4** Cisco Integrated Management Controller (CIMC) を使用するか、デバイスの電源を入れ直して Cisco APIC を再起動します。
- ステップ 5** 左上に表示される 10 秒のカウントダウン タイマーの間に **[Esc]** キーを押して、ブート ターゲットのリストを表示します。
- ステップ 6** **[e]** キーを押して、デフォルトの **grub** 行を編集します。
- ステップ 7** 「linux」で始まる行に移動します。**[End]** キーまたは右矢印キーを使用して、カーソルをその行の最後に移動し、「aci-admin-passwd-reset」を追加します。
- ステップ 8** **[Ctrl+X]** を押してエントリを起動します。

新しいパスワードを有効にするには数分かかる場合があります。

## Rescue-user アカウントを使用し NX-OS スタイルの CLI を使用した Cisco APIC 構成を消去する

rescue-user は、クラスタにない場合でも Cisco APIC へのアクセスを提供する緊急ログインです。このログインを使用して、構成の消去を含むトラブルシューティングコマンドを実行できます。



**Note** スタンバイ Cisco APIC の場合、SSH を使用して、ユーザー名「rescue-user」でパスワードなしでログインできます。スタンバイ Cisco APIC が以前にファブリックの一部であった場合、キーボード、ビデオ、マウス (KVM) コンソールを使用してオペレーティングシステムを再インストールしない限り、「rescue-user」アカウントは古い管理者パスワードを保持します。

**ステップ 1** Cisco Integrated Management Controller (CIMC) コンソールを使用して APIC にアクセスします。

**ステップ 2** rescue-user としてログインします。

**Note** 管理者パスワードが構成されていて、Cisco APIC がファブリックにログオンしている場合、rescue-user パスワードは管理者パスワードと同じです。それ以外の場合、rescue-user のパスワードはありません。

**ステップ 3** `acidiag touch` コマンドを使用して、構成をクリアします。

**Example:**

```
apic1# acidiag touch setup
```

## フォールバック ログインドメインを使用してローカルデータベースにログインする

「フォールバック」という名前の隠しログインドメインがあり、ロックアウトの場合にローカルユーザーデータベースを使用してログインできます。認証方法に使用されるユーザー名の形式は `apic#fallback\\<username>` です。

---

**ステップ 1** 次に示すように、フォールバック ログイン ドメインを使用して GUI のローカル データベースにログインするか、NX-OS スタイルの CLI を使用してフォールバック ログイン ドメインにログインします。

```
apicl(config)# aaa authentication login domain fallback
apicl(config-domain)# ?
group Set provider group for login domain
realm Specify server realm
```

**ステップ 2** 必要に応じて、代わりに REST API を使用して、次のようにフォールバック ログイン ドメインにログインできます。

- URL: `https://ip_address/api/aaaLogin.xml`

- データ :

```
<aaaUser name="apic#fallback\\admin"
pwd="passwordhere"/>
```

■ フォールバック ログインドメインを使用してローカルデータベースにログインする

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。